

令和5年度 事業計画

I 事業方針

久御山町シルバー人材センターは平成10年に設立以来、「自主・自立、共働・共助」の理念の下、高齢者の強みである知識と経験を活かし、柔軟な働き方で活力ある地域社会づくりに寄与することを目的に事業活動を展開しています。

現在は、新型コロナウイルス感染症の脅威を拭き切れない状況ではあるものの「withコロナ」として経済活動を止めずに活動していくことが求められております。社会情勢に目を向けると、ウクライナ情勢が世界経済に影響を与え、日本でも物価の高騰などが生じており、動向を注視していく必要があります。そうした中、10月からはインボイス制度も実施されることから、センター負担となる経費の捻出が必要となるなど、社会の流れや変化を把握し、対応できる体制及び事業を展開していかなければいけないと考えております。

さて、我が国の人口は、平成20年をピークに減少しており、現在65歳以上の人口は過去最高となっています。少子高齢化とそれに伴う労働人口の減少が進んでいる中、シルバー人材センターの果たす役割の重要性と地域社会の期待は一層大きなものとなっていますが、定年退職年齢の引き上げによるシルバー人材センターへの影響も考慮していく必要があります。

令和5年度は、当センターにとって、第2次中期事業計画（令和2年度～令和6年度）の4年度目となり、それに則した事業目標並びに事業計画を次のように定め、目標に向かって着実に実行していきます。

会員の拡大と確保及び会員間の絆をより深めることに努め、自主的な公益法人として、会員一人ひとりが運営の主体となり、人権を大切にし、自ら培った経験や知識、ノウハウを活かし元気に活躍することによって、「シルバーパワー」で地域での役割や存在感をより向上させていきます。

目的を達成するために、久御山町をはじめ、公益社団法人京都府シルバー人材センター連合会及び府内のセンター、関係諸団体と連携を図りながら、会員の皆様とともに事業に取り組むことといたします。

II 事業目標値

会員数、契約金額、年間就業延べ人数及び安全就業について、当センターの『第2次中期事業計画』の目標値に則り設定し、その取組みを積極的に推進します。

- | | |
|--------------|--|
| (1) 会員数 | 510人 |
| (2) 契約金額 | 265,000千円
(請負・委任 225,000千円、派遣 40,000千円) |
| (3) 年間就業延べ人数 | 60,000人/日 |
| (4) 安全就業 | 無事故 |

III 基本計画

- (1) 会員数の増加をめざして
- (2) 事業の拡大をめざして
- (3) 会員の就業機会の適正化をめざして
- (4) 職域班の充実をめざして
- (5) 会員間及び地域におけるネットワーク形成をめざして
- (6) 組織運営の改善と健全財政の継続をめざして

IV 実施計画

(1) 会員数の増加をめざして

会員の拡大を重点事項とし、これまでの取組みを強化・発展させることで更なる会員の拡大を図り、会員の満足度を向上させることにより会員数の減少を抑える。

- ① 「会員拡大推進員」制度を活用し、地域性を考慮した活動の検討と実施
- ② 会員及び役員による「シルバー協力隊（取次所）」の拡大の検討と実施
- ③ 個人商店と協力関係を結ぶ「シルバー・パートナー・ショップ」の拡大と実施
- ④ シルバー広報板の活用
- ⑤ 気の合う仲間と出会うための居場所の提供
- ⑥ 「特・得」とくべつにおとくなサービスの新規内容の検討
- ⑦ 会費未納者への対応案の検討

(2) 事業の拡大をめざして

既存先との更なる協力関係を構築し、新規受注に対しては積極的に対応することで事業の拡大を図る。

- ① 既存先と更なる信頼関係が築ける活動の実施
- ② 新たな就業先の開拓並びに事業と要員の受託を目指した営業活動の実施
- ③ 会員の「クチコミ」による営業活動の実施
- ④ 久御山町等関係機関に対して新たな発注への提言及び要望活動の実施

(3) 会員の就業機会の適正化をめざして

会員の保有する技能等の把握と活用を図ることにより、全会員にきめ細やかな対応を心掛ける。また、高齢会員向けの就業を開拓するなど未就業会員の解消を目指す。

- ① 「適正就業ガイドライン」を活用して、会員及び発注者に適正な就業方法等の周知徹底を図る。
- ② 高齢会員向け就業の確保に向けた活動の検討と実施
- ③ 未就業会員の現状把握と就業機会の提供を図る。
- ④ 会員のスキルアップを目指した講習会の実施

(4) 職域班の充実をめざして

職域班の更なる活性化を図ることで契約と就業における効率化を目指し、後継者の育成を考慮した組織づくりを目指す。

- ① より円滑な運営体制づくりとして、複合班から単体班への移行を図る。
- ② 班長としてのやりがいを見出し、班長手当制度の導入を検討する。
- ③ 後継者の育成を目的とした体制づくりの検討

(5) 会員間及び地域におけるネットワーク形成をめざして

社会情勢に影響されないための工夫を凝らし、様々な事業を積極的に実施することで、多方面からの信頼度を高め、社会に貢献できる「センター」を目指す。

- ① 地域班の活性化についての検討
- ② ボランティア活動の実施
- ③ シルバー主催イベントの実施
- ④ 高齢者向け各種講座の実施（高齢者活躍人材確保育成事業の活用）
- ⑤ ワンコインサービスの継続
- ⑥ 地域住民向けへの PR 活動の検討と実施
- ⑦ 独自事業の検討
- ⑧ 山城地域シルバー人材センターとの連携と積極的な活動を展開する。

(6) 組織運営の改善と健全財政の継続をめざして

- ① 法人組織の最高決議機関である総会で、出席率の向上を図り、全会員が意思表示するよう、引き続きその主旨を徹底し、周知の具体策を検討する。
- ② シルバー事業の課題等を、委員会及び各部会で十分な検討を行い、取り組むことで、理事会機能を充実させるとともに、法人運営や財政面等の効率化と適正化を図る。
- ③ 第2次中期事業計画の目標達成に向けて積極的に取り組む。
- ④ 安定的な事業運営の継続を図るため、久御山町等関係機関に対し、財源確保の要請を強く行う。
- ⑤ 収支バランスを保つため、基盤づくりの見直しを図る。
- ⑥ インボイス制度導入によって生じる新たな経費負担の検討を行い、実施する。
- ⑦ 事務局内において、事務の適正化や効率化の推進に努め、職員の育成を積極的に図り、管内及び管外の職員研修会・講習会等に積極的に参加し、研鑽に努める。

V 安全就業「無事故」をめざして

『安全は、就業の全てに優先する』

安全就業はシルバー事業の基本であり、発注者や地域社会からの信頼を得るためにも大変重要な要素です。会員・役職員が安全・安心への意識の向上に努め、健康を維持することで、事業推進を行う。

- ① 「安全就業担当推進員」制度の見直しを図り、より安全就業への意識の向上を図る。
- ② 安全就業に関し、「報告・連絡・相談」を徹底し、早期解決に努める。
- ③ 安全就業大会の実施
- ④ 安全就業パトロールの実施
- ⑤ 安全だよりの発行
- ⑥ 安全保護具の強化
- ⑦ 会員の自主的な健康診断の受診勧奨